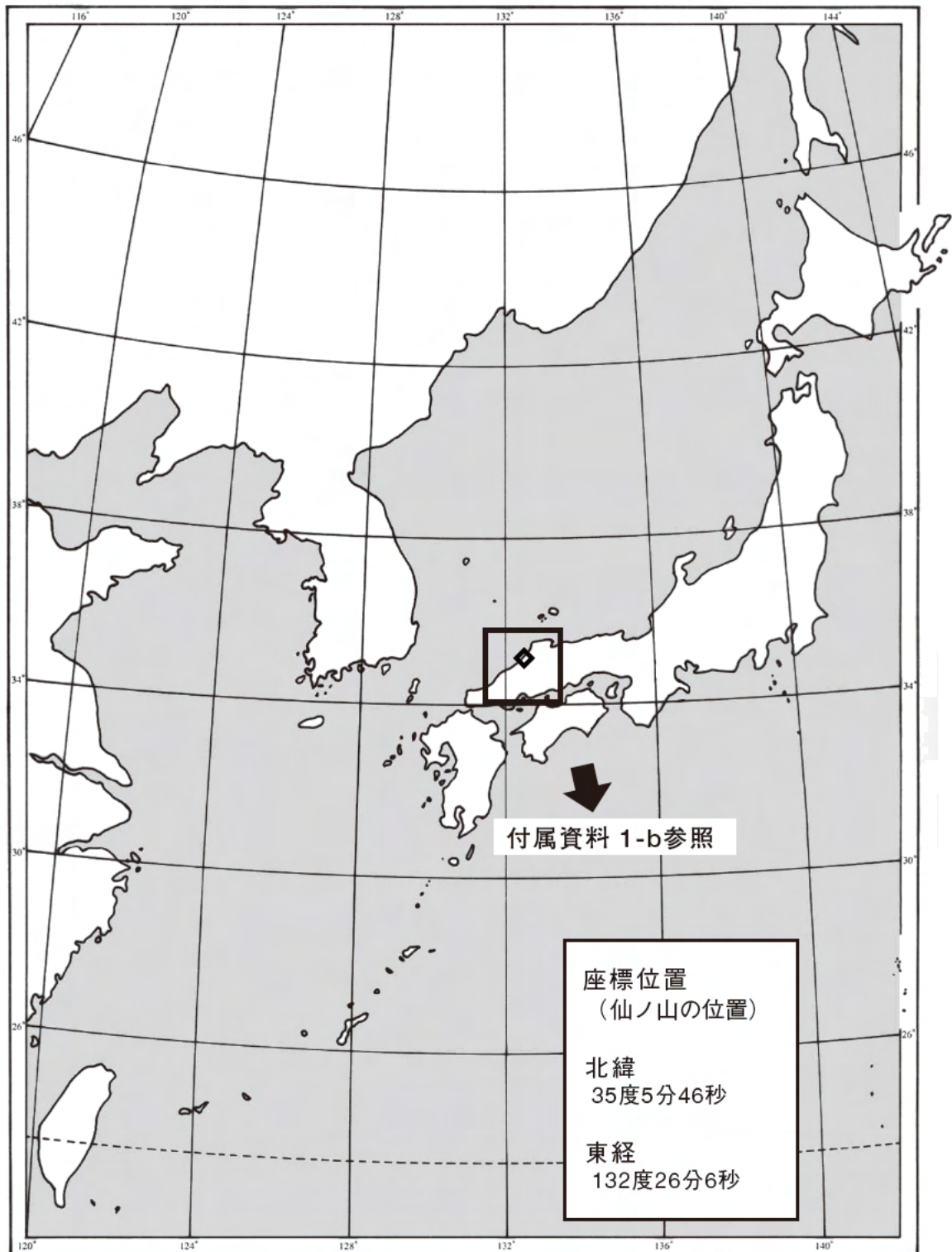


## 5. 関連資料



# 付属資料 1 - a

登録資産位置図：◆  
日本における位置図



0 100 300 500 1,000 1,500km

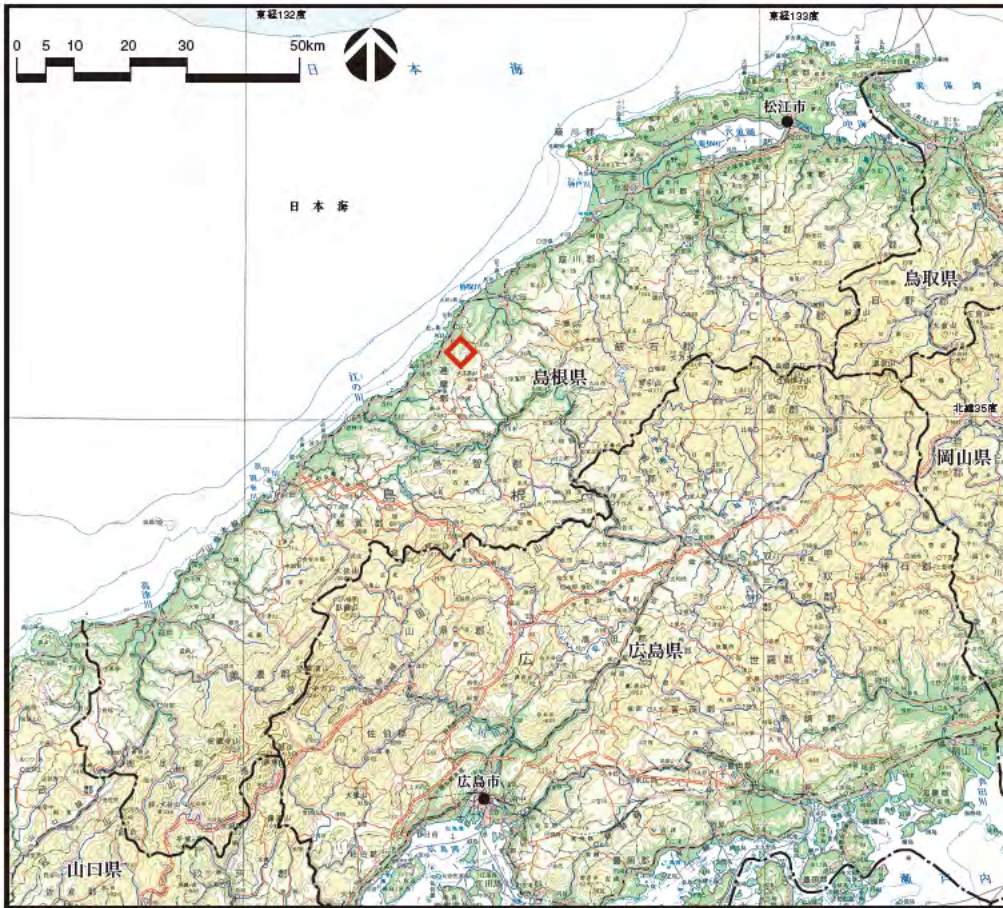


石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 1-b

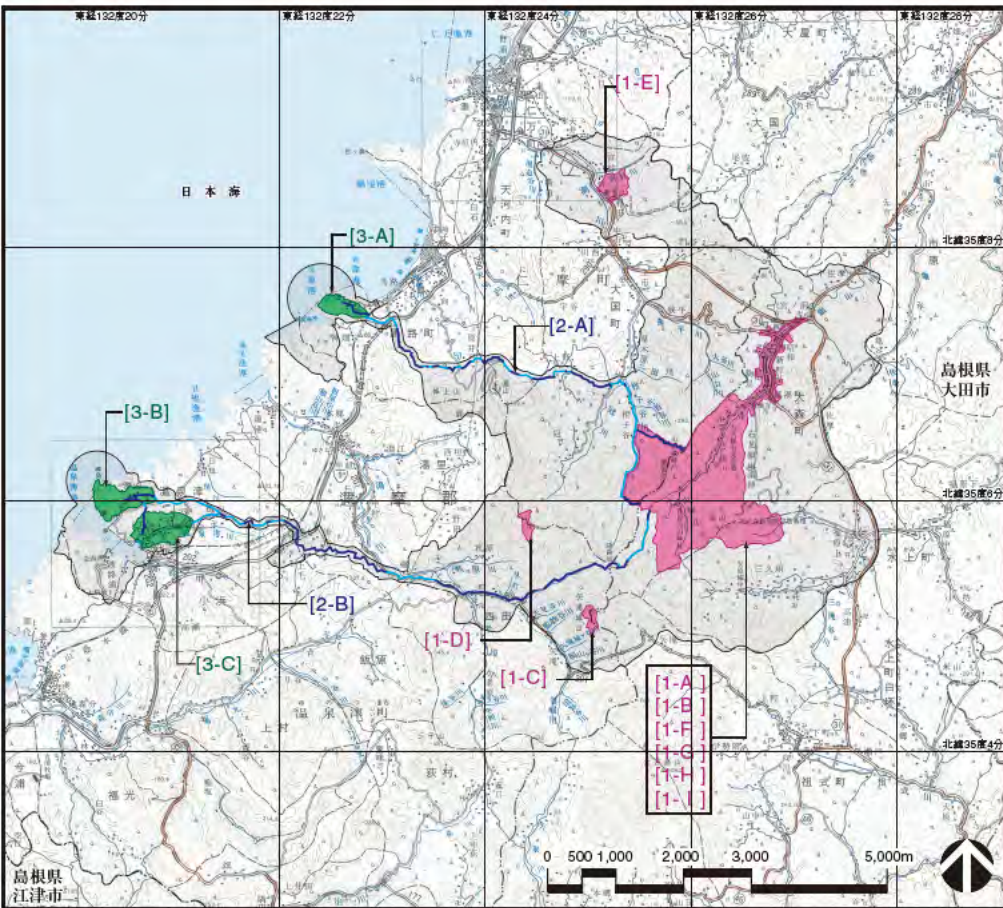
登録資産位置図  
島根県における位置図



石見銀山遺跡とその文化的景観

付属資料 1-c

登録資産位置図  
大田市における位置図

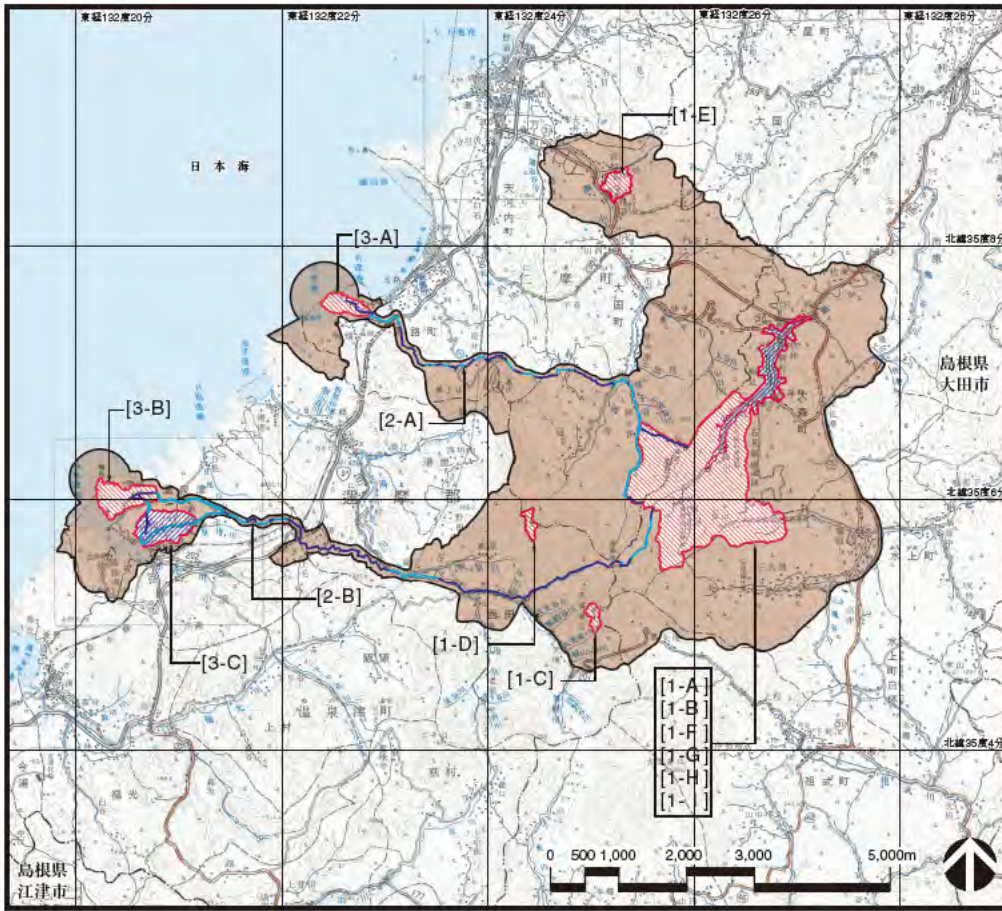


- (登録資産) 442ha
1. 銀鉱山跡と鉱山町
- [1-A] 銅山棚内
  - [1-B] 代官南跡
  - [1-C] 矢湯城跡
  - [1-D] 矢湯城跡
  - [1-E] 石見城跡
  - [1-F] 大瀬・銅山
  - [1-G] 宮ノ前
  - [1-H] 熊谷家住宅
  - [1-I] 藤満寺五百羅漢
2. 街道
- [2-A] 石見銀山街道朝ヶ浦遺
  - [2-B] 石見銀山街道温泉津・沖治遺
3. 港と港町
- [3-A] 朝ヶ浦
  - [3-B] 沖治
  - [3-C] 温泉津
- (緩衝地帯) 3,221ha
- 合計 3,663ha



石見銀山遺跡とその文化的景観





付属資料 2-a(1)

登録資産及び緩衝地帯の範囲図

登録資産及び緩衝地帯の範囲図  
及び法的保護区分図

- [1-A] 銀山廟内
- [1-B] 代安所跡
- [1-C] 矢海城跡
- [1-D] 矢宮城跡
- [1-E] 石見城跡
- [1-F] 大森・銀山
- [1-G] 宮ノ前
- [1-H] 熊谷家住宅
- [1-I] 藤満寺五百羅漢
- [2-A] 石見銀山街道朝ヶ浦遺跡
- [2-B] 石見銀山街道温泉津・沖泊遺跡
- [3-A] 朝ヶ浦
- [3-B] 沖泊
- [3-C] 温泉津

- 文化財保護法
- [斜線] 史跡
  - [黄色] 重要文化財
  - [斜線] 重要伝統的建造物群保存地区

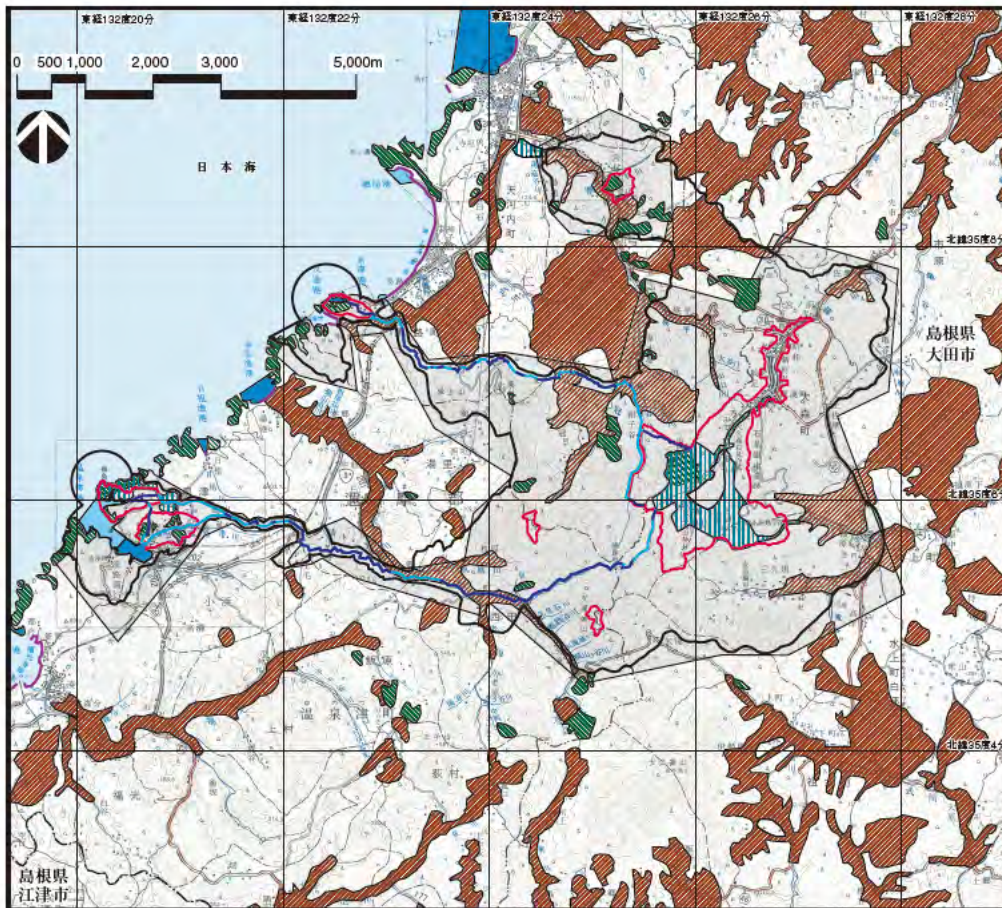
- 石見銀山景観保全条例
- [茶色] 石見銀山景観保全地域

- 登録資産
- [赤枠] (範囲)
  - [黒枠] (街道)
  - [黒枠] 登録資産
  - [黒枠] 石見銀山街道

緩衝地帯



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 2-a(2)

登録資産及び緩衝地帯の範囲図

登録資産及び緩衝地帯の範囲図  
及び法的保護区分図

- [1-A] 銀山廟内
- [1-B] 代安所跡
- [1-C] 矢海城跡
- [1-D] 矢宮城跡
- [1-E] 石見城跡
- [1-F] 大森・銀山
- [1-G] 宮ノ前
- [1-H] 熊谷家住宅
- [1-I] 藤満寺五百羅漢
- [2-A] 石見銀山街道朝ヶ浦遺跡
- [2-B] 石見銀山街道温泉津・沖泊遺跡
- [3-A] 朝ヶ浦
- [3-B] 沖泊
- [3-C] 温泉津

- [斜線] 緩衝禁止地域 (緩衝帯に係る土地利用の調整手続等に関する法律)
- [斜線] 保安林 (森林法)
- [斜線] 農用地区域 (農業振興地域の整備に関する法律)
- [斜線] 都市公園区域 (都市公園法)
- [斜線] 港湾区域 (港湾法)
- [斜線] 漁港区域 (漁港漁場整備法)
- [斜線] 海岸保全区域 (海岸法)

- 登録資産
- [赤枠] (範囲)
  - [黒枠] (街道)
  - [黒枠] 登録資産
  - [黒枠] 石見銀山街道

緩衝地帯

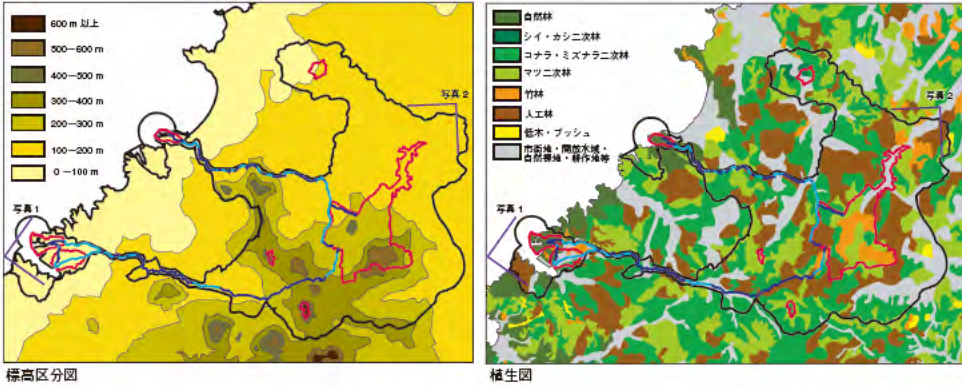


石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-1

登録資産の主要構成要素に関する図面  
標高区分図・植生図



標高区分図

植生図



写真1. 西より石見銀山（沖泊・温泉津）を望む



写真2. 北東より石見銀山（銀山槽内・大森銀山）を望む



石見銀山遺跡とその文化的景観

付属資料 3-2

登録資産の主要構成要素に関する図面

銀生産・生活の観点から見た諸要素

鉱床の分布

[1-A] 銀山槽内

■ 鉱床

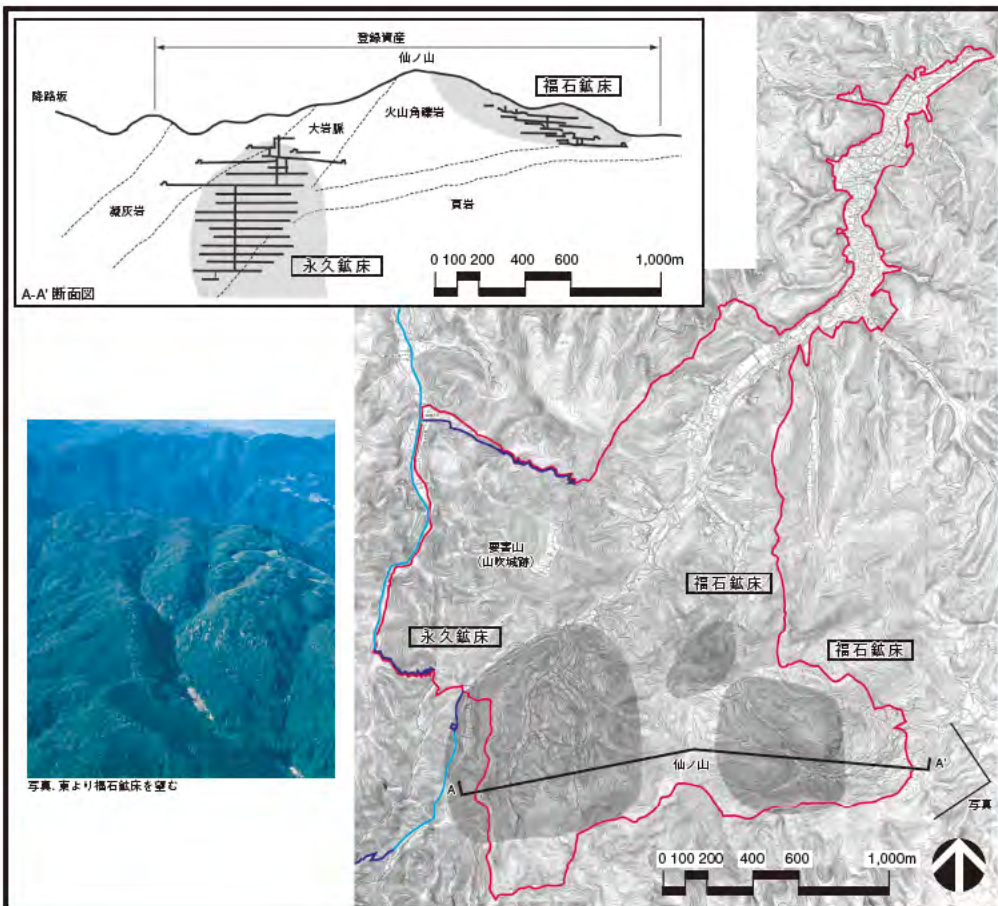


写真. 東より福石鉱床を望む

石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-3

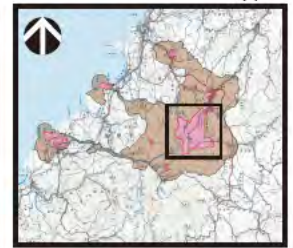
登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素  
霧凇探跡と坑道探跡（間歩）の分布

[1-A] 銀山棚内

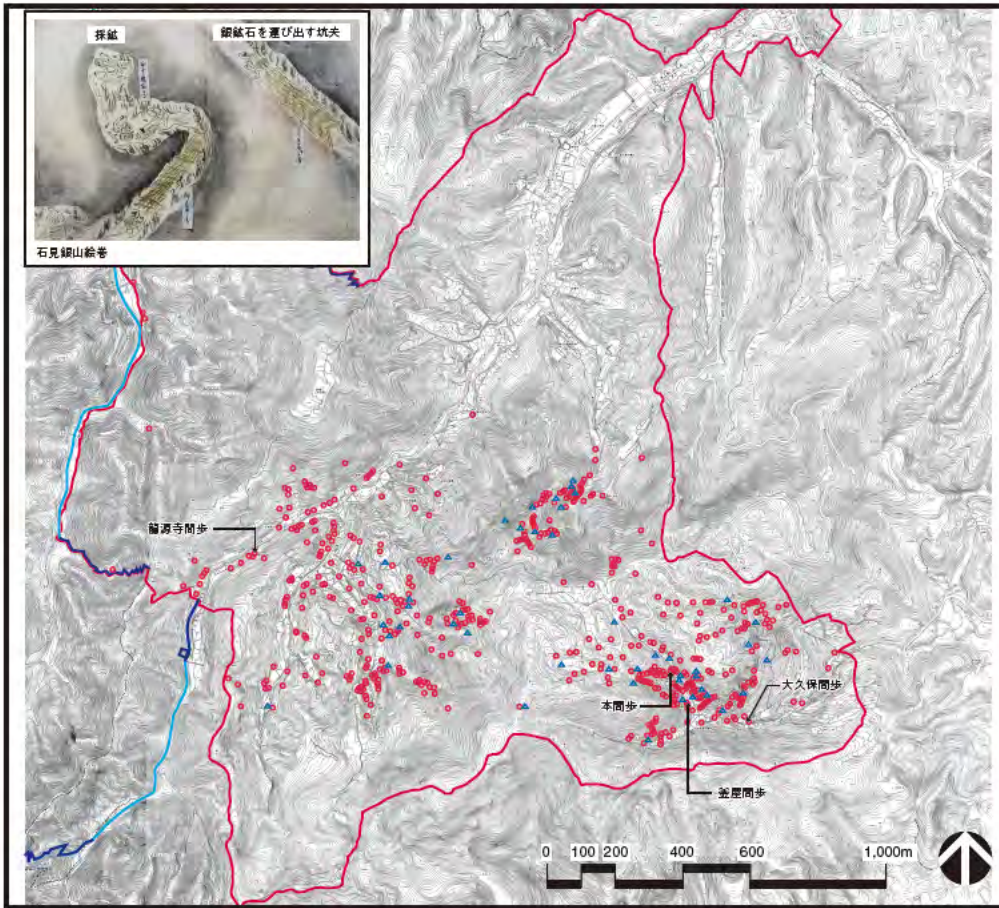
- ▲ 霧凇探跡
- 坑道探跡（間歩）



Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-4

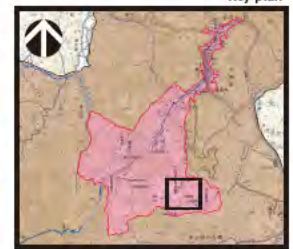
登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素  
平坦地、霧凇探跡と坑道探跡（間歩）の分布

[1-A] 銀山棚内

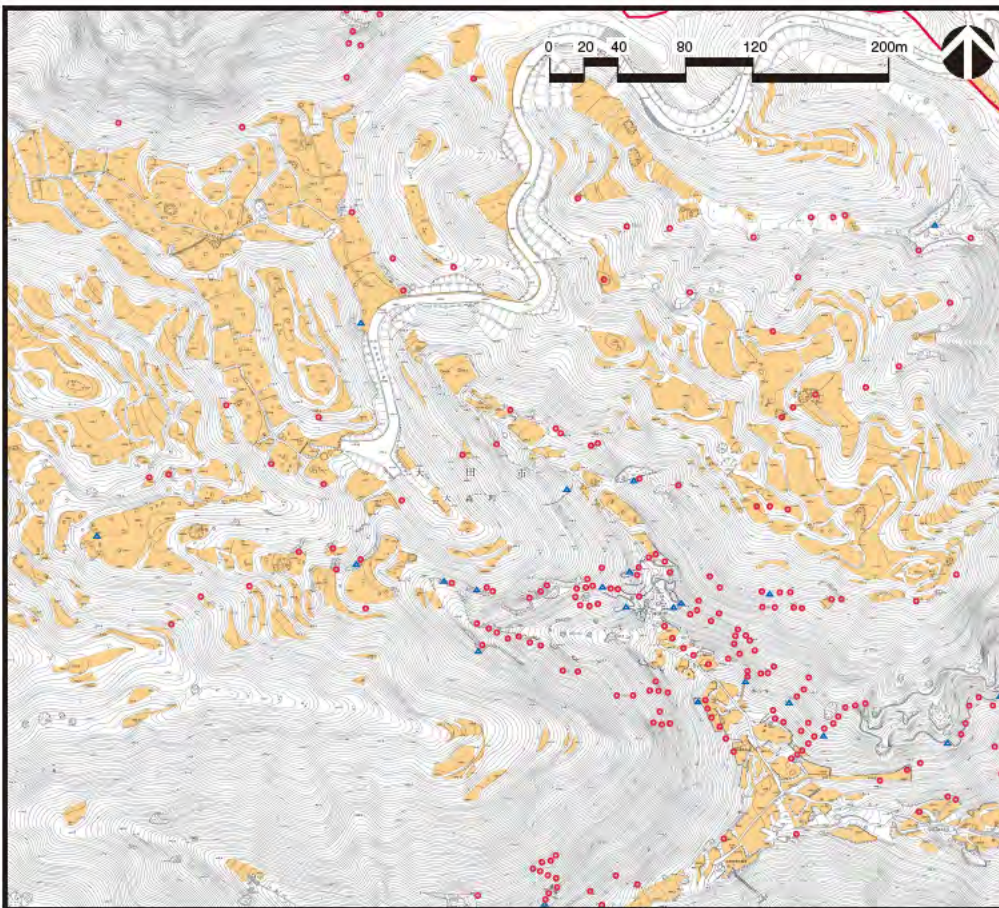
- 平坦地
- ▲ 霧凇探跡
- 坑道探跡（間歩）



Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観





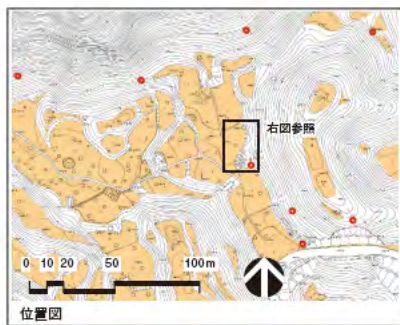
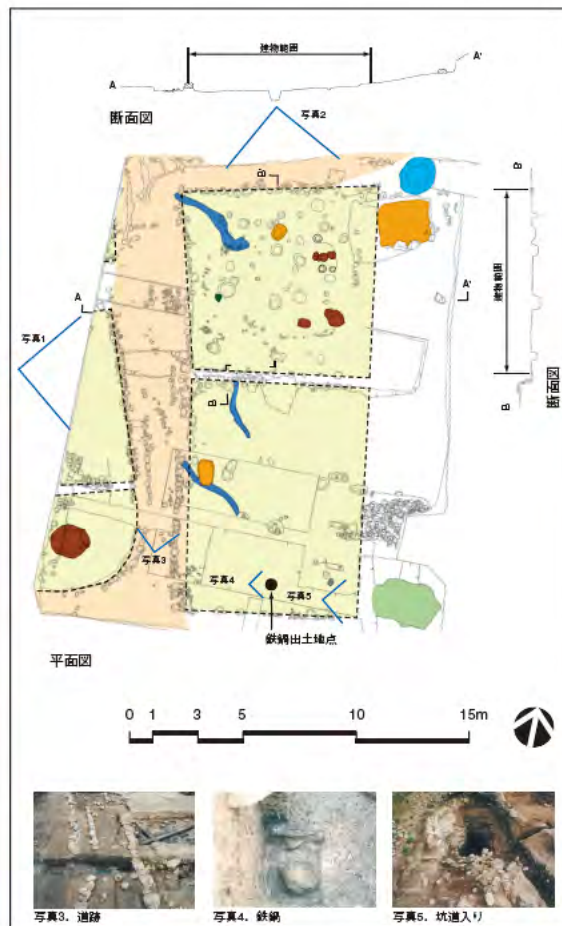


写真1. 遺構の様子 (西から)



写真2. 遺構の様子 (北から)



### 付属資料 3-5

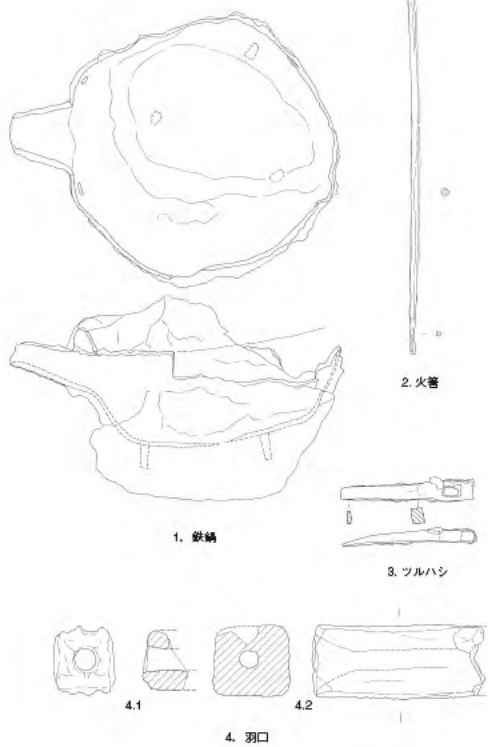
登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素  
遺構 (仙ノ山山頂部付近、石銀藤田地区)

- [1-A] 銀山構内
- 遺跡
  - 建物跡
  - 坑道入り口
  - 炉跡
  - 土坑
  - 要石
  - 井戸跡
  - 溝跡



石見銀山遺跡とその文化的景観

#### a. 生産関連遺物



#### b. 生活関連遺物



### 付属資料 3-6

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素  
生産関連と生活関連の遺物  
[1-A] 銀山構内

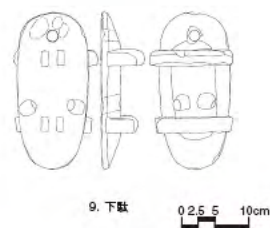


写真 出土遺物

石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-7

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素遺構（仙ノ山南側谷筋）

[1-A] 御山棚内

- 建物跡
- 露筋探跡・坑道探跡
- 炉跡
- 土坑
- 石積み施設
- 井戸

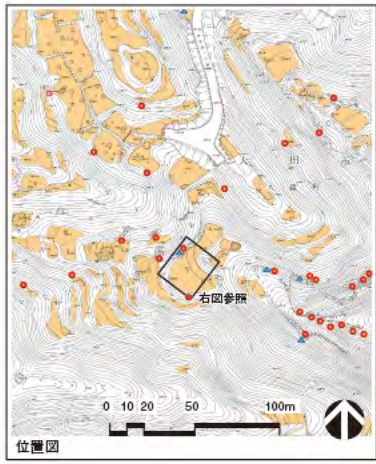


写真1. 遺構の様子



写真2. 炉跡



写真3. 井戸



写真4. 石積み施設



写真5. 岩盤に残る工具痕 (右図参照)



石見銀山遺跡とその文化的景観

付属資料 3-8

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素遺構（宮ノ前地区1）

[1-G] 宮ノ前

- 建物跡
- 炉跡
- 土坑
- 礫石
- 溝跡

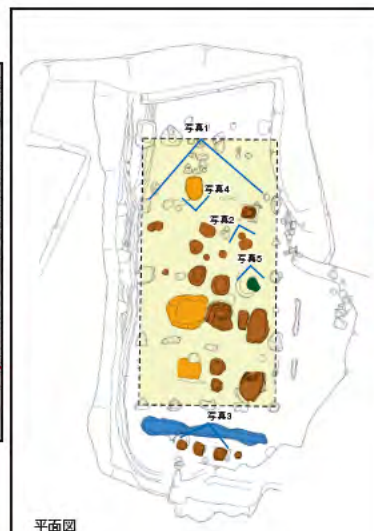
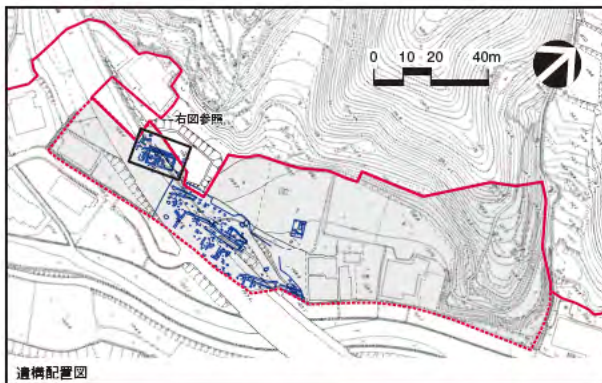


写真1. 遺構の様子



写真2. 炉跡



写真3. 炉跡



写真4. 土坑



写真5. 礫石

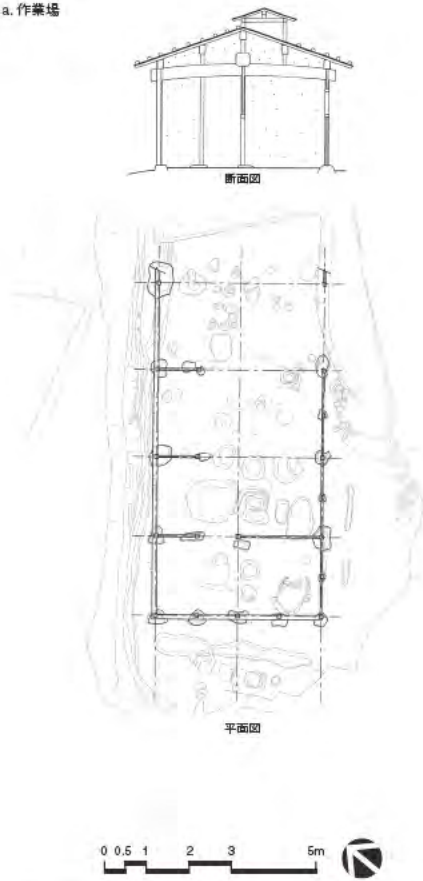
- 登録資産（範囲）
- 宮ノ前



石見銀山遺跡とその文化的景観



a. 作業場



b-1. 炉跡

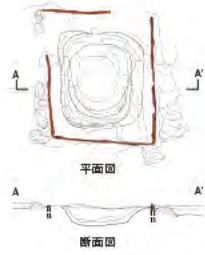


写真1. 炉跡 (b-1)

b-2. 炉跡

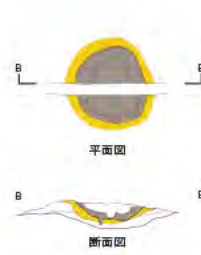


写真2. 炉跡 (b-2)

付属資料 3-9

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素  
遺構 (宮ノ前地区2)  
[1-①] 宮ノ前

- 粘土
- 炭化物層
- 木枠

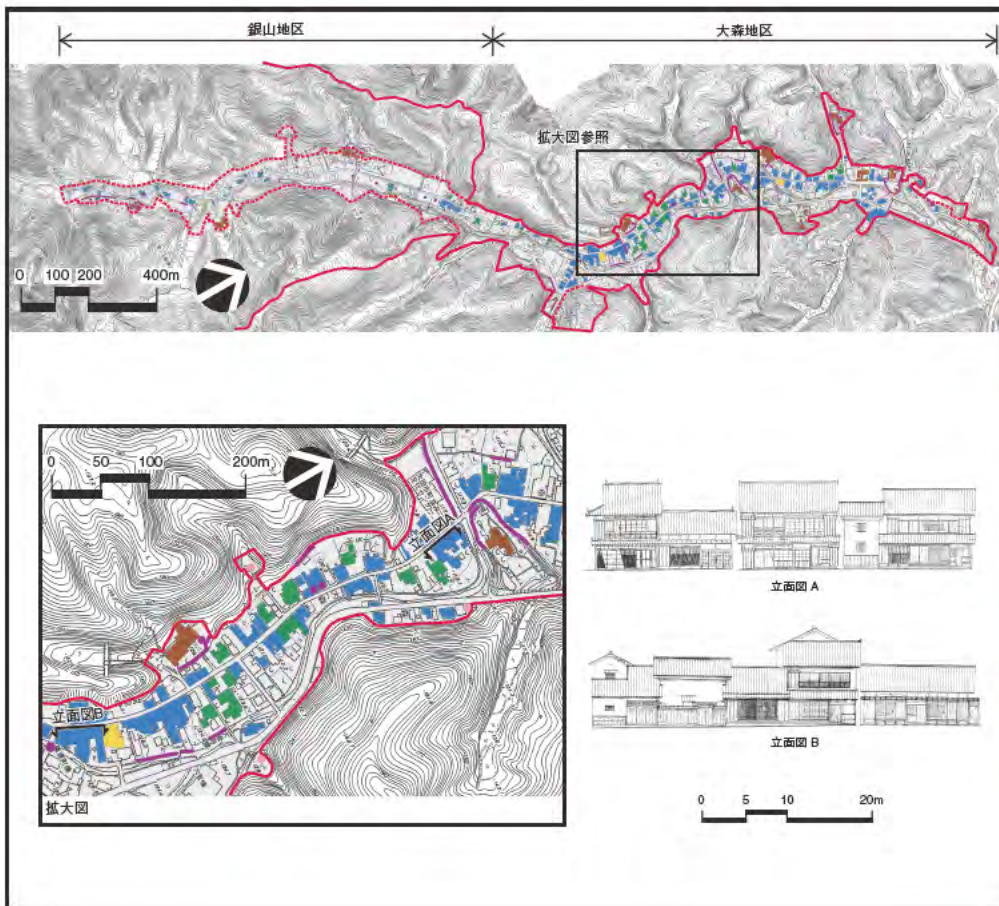
c. 精錬



18世紀末～19世紀に描かれた絵巻



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-10

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素  
鉱山町  
[1-F] 大森・銀山

- 伝統的建造物
- 武家屋敷
- 町家
- 郷宿
- 社寺・役所
- 石垣・井戸・石碑等
- 社寺跡・役所跡

- 登録資産
- 大森・銀山



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-11

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素

武家屋敷と町家  
[1-F] 大森・銀山

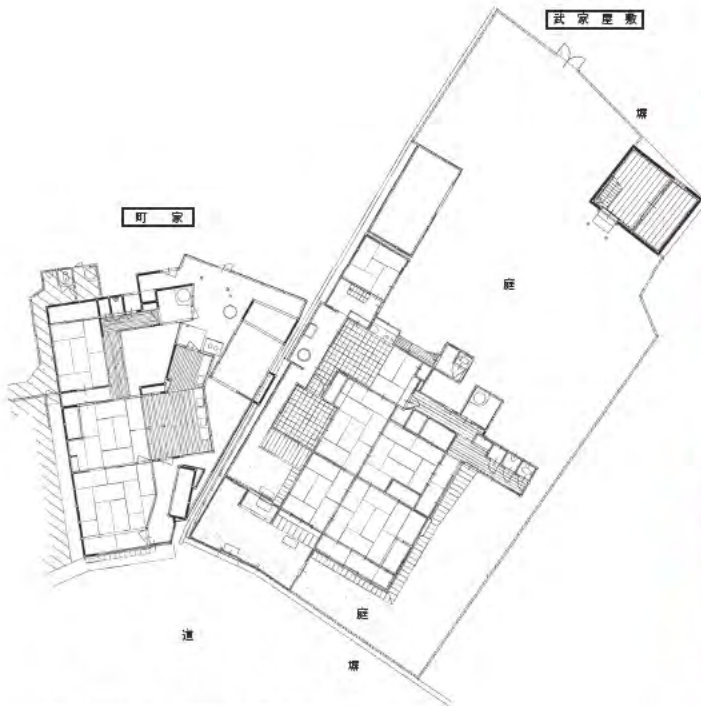
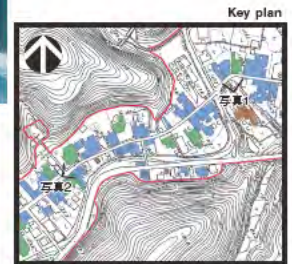


写真1. 隣接して建てられた武家屋敷と町家



写真2. 向かい合う武家屋敷と町家



石見銀山遺跡とその文化的景観

隣接して建てられた武家屋敷と町家 (写真1)



付属資料 3-12

登録資産の主要構成要素に関する図面  
銀生産・生活の観点から見た諸要素

町家  
[1-F] 熊谷家住宅



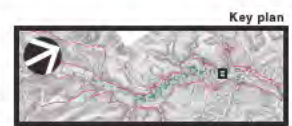
鳥瞰図 (北西から)



立面図 (西)



立面図 (南)



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-13

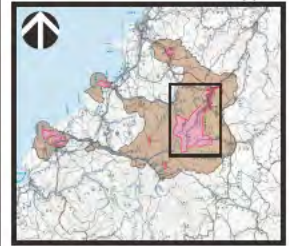
登録資産の主要構成要素に関する図面  
支配の観点から見た諸要素

- [1-A] 銀山棚内
- [1-B] 代官所跡
- [1-F] 大森・銀山

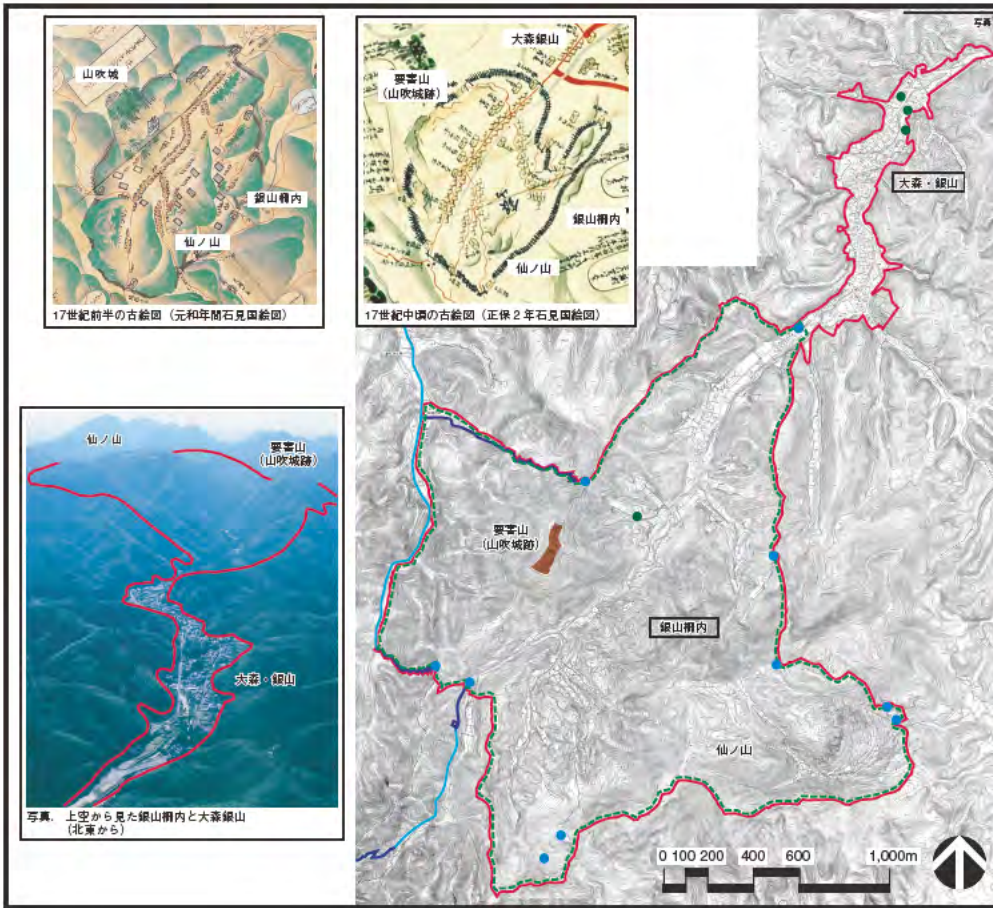
- 山城跡
- 役所跡
- 橋跡
- 番所跡



Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-14

登録資産の主要構成要素に関する図面  
支配の観点から見た諸要素

- 代官所跡
- [1-B] 代官所跡

- 登録資産
- 代官所跡

Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観

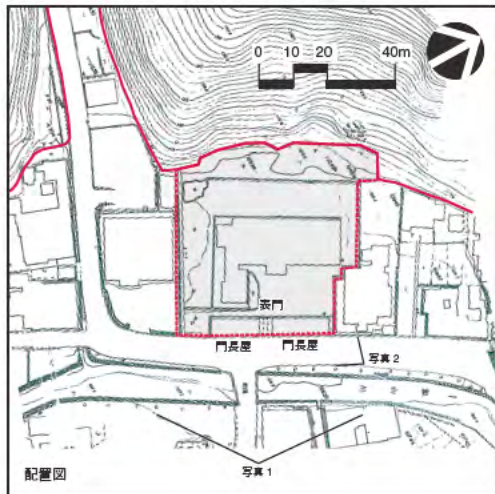
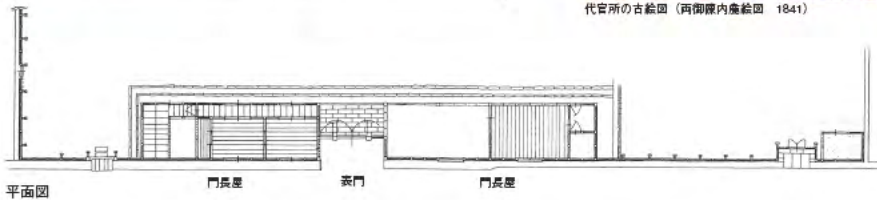


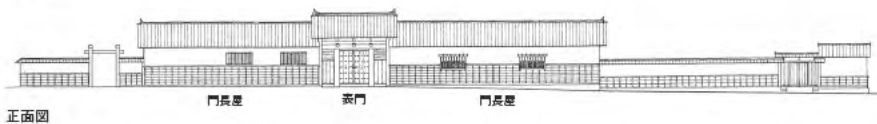
写真1. 代官所跡（上空から） 写真2. 代官所跡



代官所の古絵図（両御殿内儀絵図 1841）



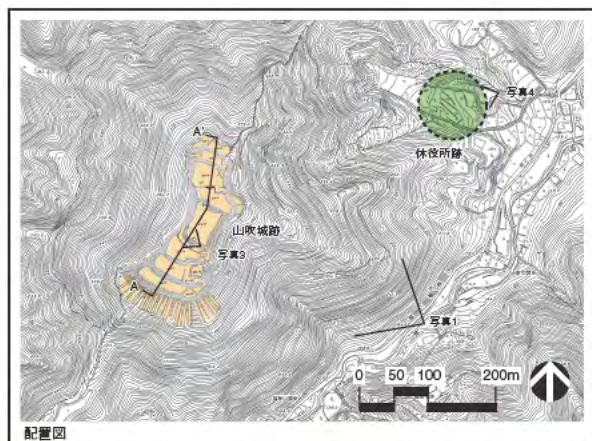
平面図



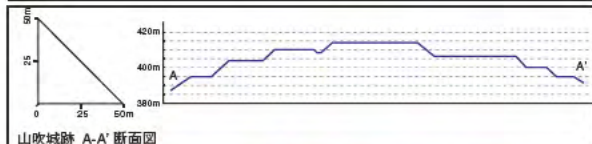
正面図



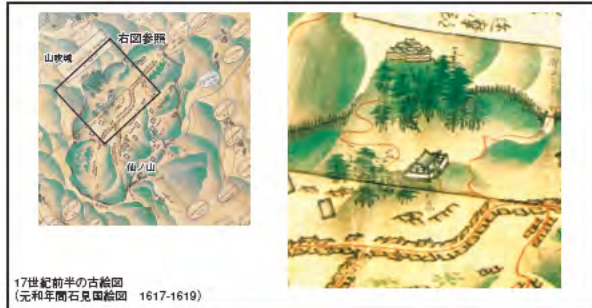




配置図



山吹城跡 A-A' 断面図



17世紀前半の古絵図  
(元和年間石見国絵図 1617-1619)



写真1. 山吹城跡 (上空から)



写真2. 山吹城跡



写真3. 山吹城跡の遺構

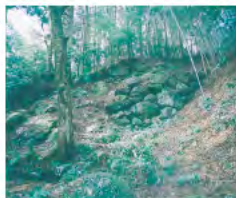


写真4. 休役所跡

### 付属資料 3-15

登録資産の主要構成要素に関する図面  
支配の観点から見た諸要素

山吹城跡と休役所跡  
[1-A] 銀山橋内

平坦面や空堀などの遺構



石見銀山遺跡とその文化的景観



平面図

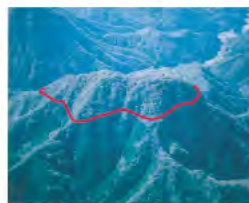


写真1. 矢淹城跡 (上空より)



写真2. 矢淹城跡



平面図

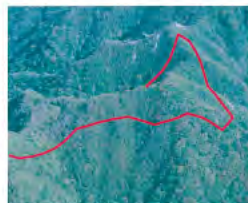


写真3. 矢答城跡 (上空より)



写真4. 矢答城跡



平面図



写真5. 石見城跡 (上空より)



写真6. 石見城跡

### 付属資料 3-16

登録資産の主要構成要素に関する図面  
支配の観点から見た諸要素

矢淹城跡、矢答城跡、石見城跡

[1-C] 矢淹城跡  
[1-D] 矢答城跡  
[1-E] 石見城跡

平坦面や空堀などの遺構

登録資産 (範囲)



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-17

登録資産の主要構成要素に関する図面  
 信仰の観点から見た話要素

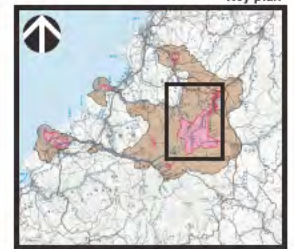
社寺と石造物の分布

- [1-A] 銀山町内
- [1-F] 大森・銀山
- [1-I] 羅漢寺五百羅漢

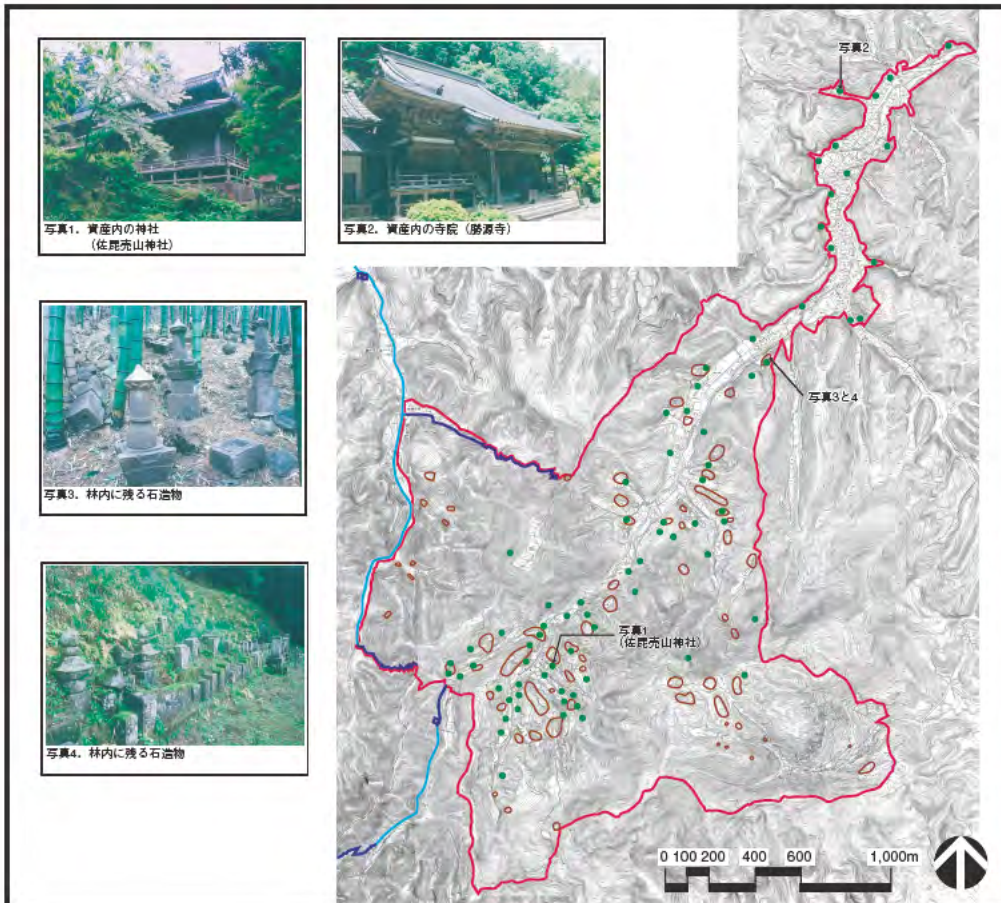
- 社寺及び社寺跡
- 石造物

- 登録資産
- (範囲)
  - (街道)
  - 石見銀山街道

Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観



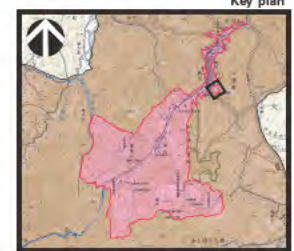
付属資料 3-18

登録資産の主要構成要素に関する図面  
 支配の観点から見た話要素

- 羅漢寺五百羅漢 1
- [1-I] 羅漢寺五百羅漢

- 登録資産
- 羅漢寺五百羅漢

Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観

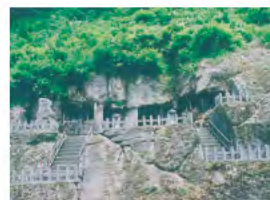
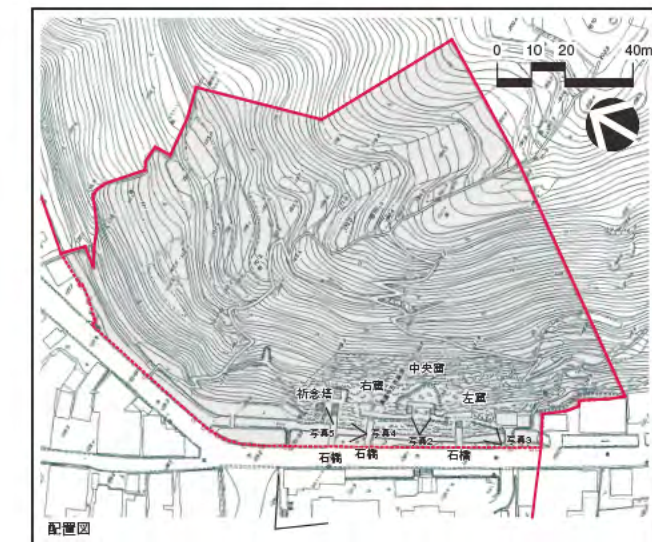


写真2. 羅漢寺五百羅漢 (中央堂)



写真3. 羅漢寺五百羅漢 (左堂)



写真4. 石橋



写真5. 祈念塔



写真1. 羅漢寺五百羅漢 (上空から)



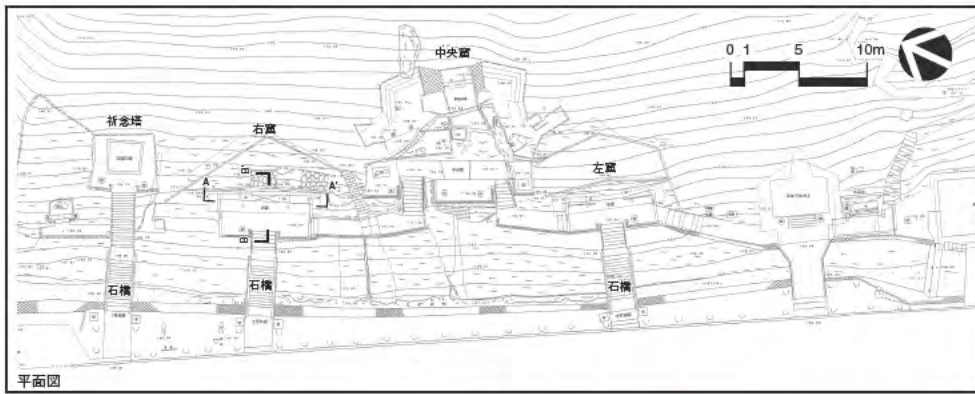
19世紀頃の木版画



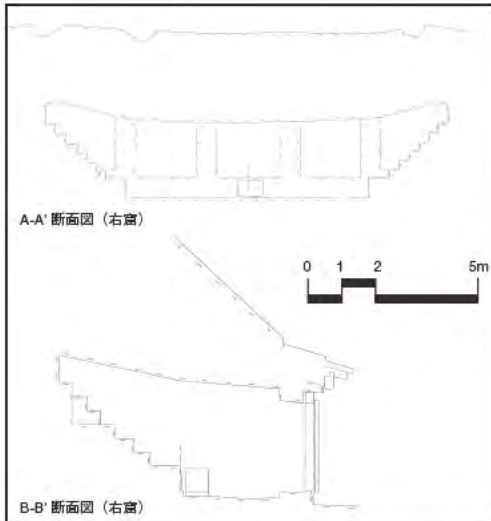
付属資料 3-19

登録資産の主要構成要素に関する図面  
信仰の観点から見た諸要素

羅漢寺五百羅漢 2  
[1-1] 羅漢寺五百羅漢



平面図



A-A' 断面図 (右室)

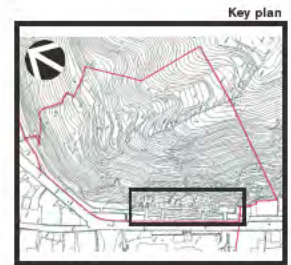
B-B' 断面図 (右室)



写真、右室内観



写真、羅漢座像



Key plan

石見銀山遺跡とその文化的景観

付属資料 3-20

登録資産の主要構成要素に関する図面  
信仰の観点から見た諸要素

佐毘売山神社  
[1-A] 銀山側内



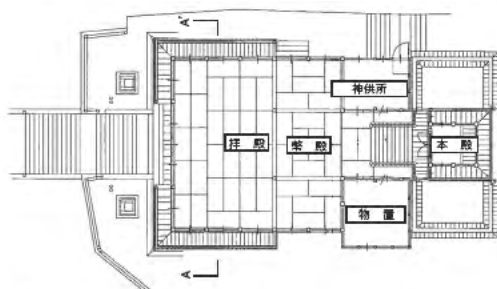
平面図



写真1. 佐毘売山神社 社殿 (正面)



写真2. 佐毘売山神社 社殿 (側面)



平面図



A-A' 断面図



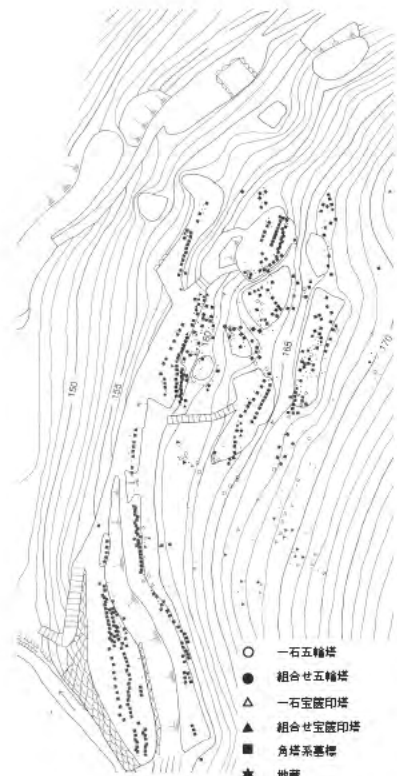
Key plan

石見銀山遺跡とその文化的景観

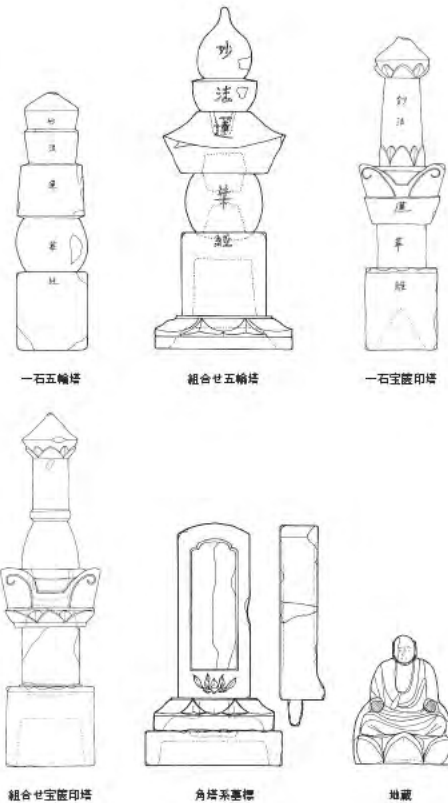
付属資料 3-21

登録資産の主要構成要素に関する図面  
 信仰の観点から見た諸要素

石造物  
 [1-A] 観山橋内



石造物分布の例



代表的な墓石型式

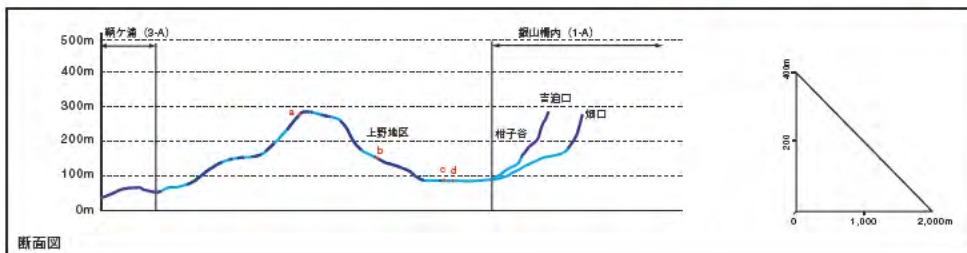
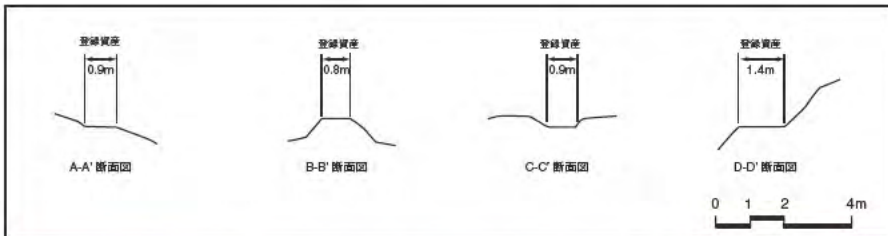
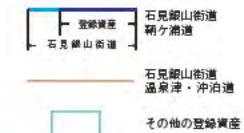


石見銀山遺跡とその文化的景観

付属資料 3-22

登録資産の主要構成要素に関する図面  
 街道を構成する諸要素

[2-A] 石見銀山街道網ヶ浦道



石見銀山遺跡とその文化的景観

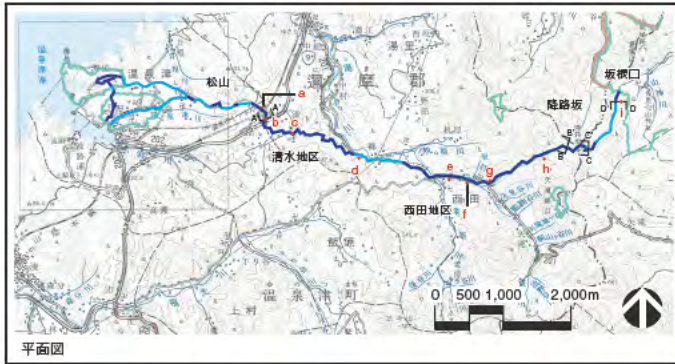
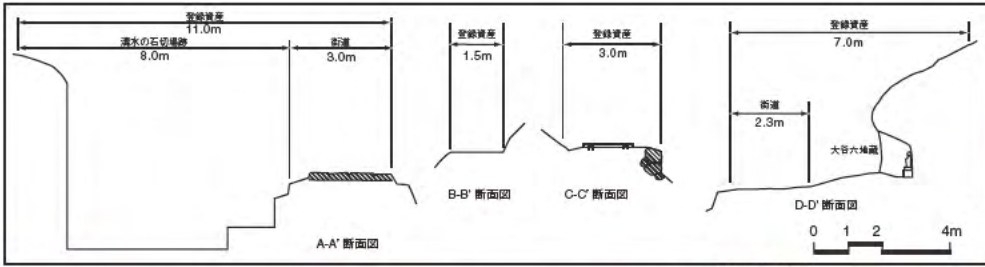
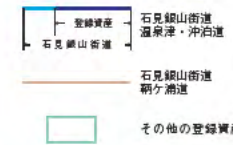


付属资料 3-23

登録資産の主要構成要素に関する図面

街道を構成する諸要素

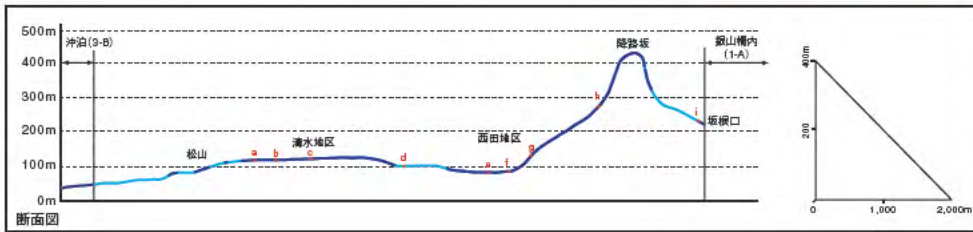
[2-B] 石見銀山街道 温泉津・沖泊道



(街道関連物件)



Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観

付属资料 3-24

登録資産の主要要素構成に関する図面

港を構成する諸要素

[3-A] 朝ヶ浦

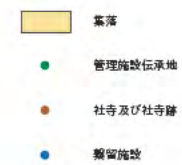


写真1. 上空から朝ヶ浦を望む



写真2. 現在の集落と湾の様子



写真3. 集落の様子



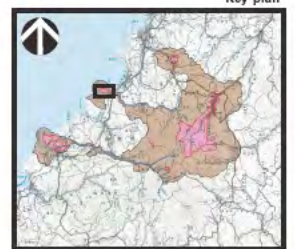
写真4. 湾の様子



写真5. 養蚕施設

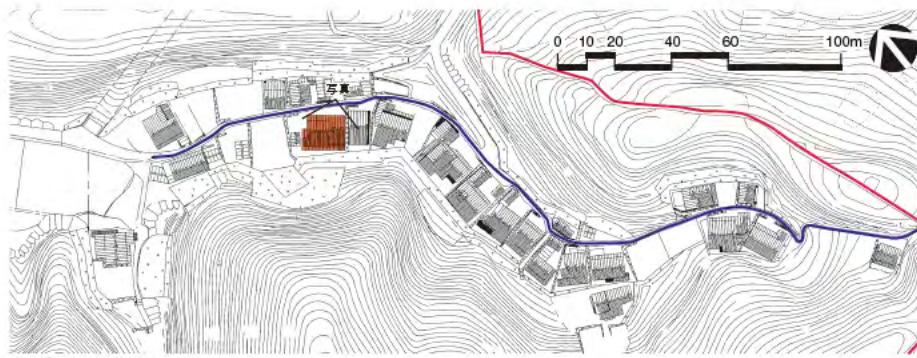


Key plan

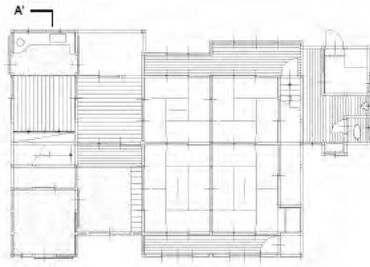


石見銀山遺跡とその文化的景観

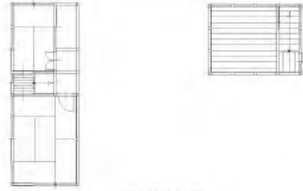




瀬ヶ浦集落の屋根伏図



平面図(1階)



平面図(2階)



断面図



写真

付属資料 3-25

登録資産の主要構成要素に関する図面

港を構成する諸要素  
集落

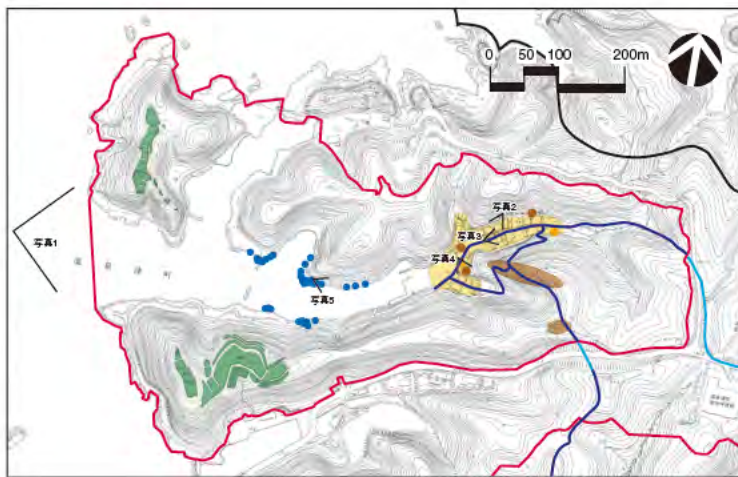
[3-A] 瀬ヶ浦



Key plan



石見銀山遺跡とその文化的景観



19世紀後半の古地図



写真1. 上空から沖泊を望む



写真2. 現在の集落と港の様子



写真3. 集落



写真4. 航海安全祈願のため建立された神社

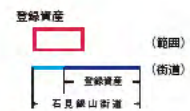
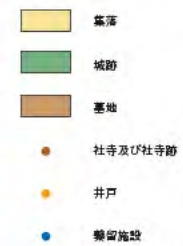


写真5. 滞留施設

付属資料 3-26

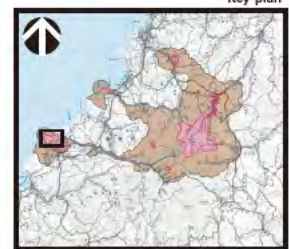
登録資産の主要構成要素に関する図面

港を構成する諸要素  
[3-B] 沖泊



縦断地帯

Key plan



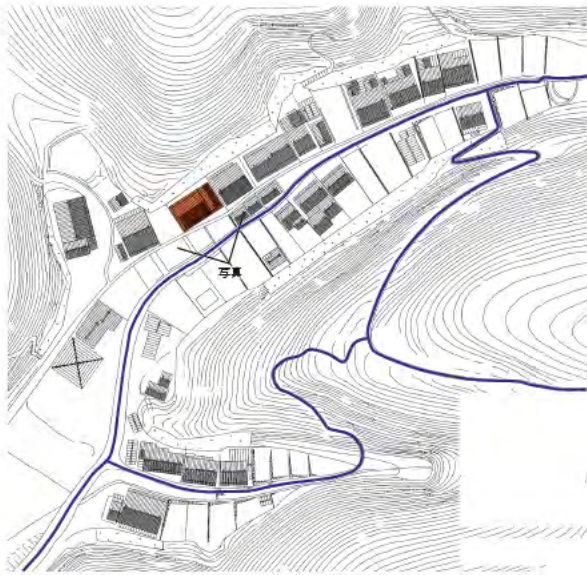
石見銀山遺跡とその文化的景観



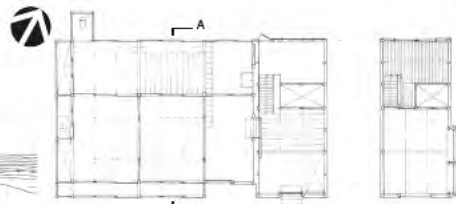
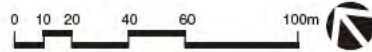
付属資料 3-27

登録資産の主要構成要素に関する図面  
港を構成する諸要素

③-B① 沖泊

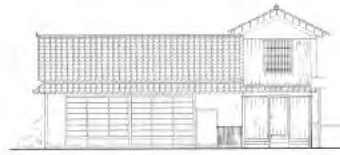


沖泊集落の屋根伏図

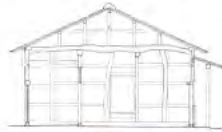


主屋・土蔵1階平面図

土蔵2階平面図



主屋・土蔵立面図



主屋断面図



登録資産

(街道)



写真



石見銀山遺跡とその文化的景観

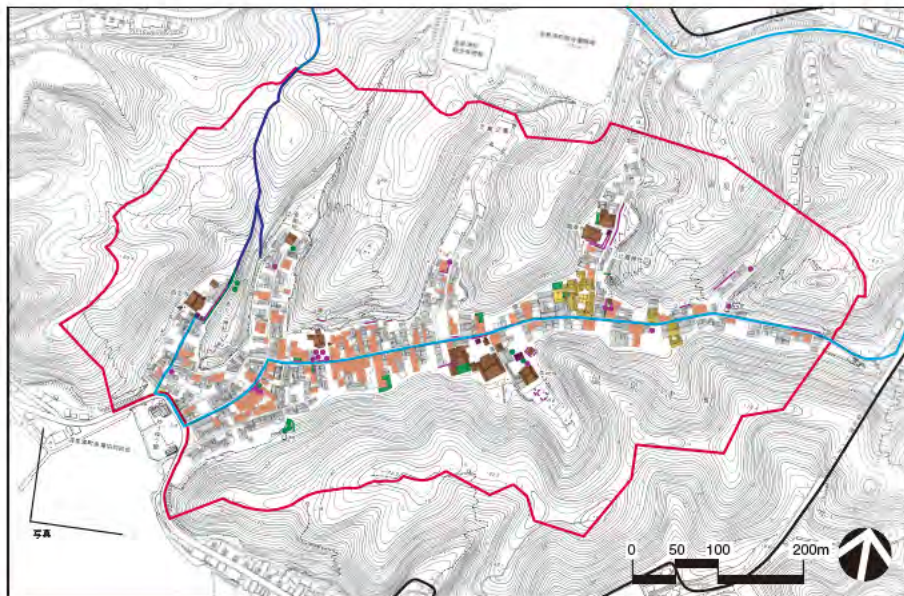
付属資料 3-28

登録資産の主要構成要素に関する図面  
港と港町を構成する諸要素

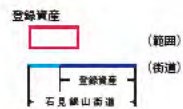
③-C① 温泉津

伝統的建造物

- 温泉旅館
- 社寺
- その他の建築物
- 石垣・門扉・井戸・墓域等
- 庭園・樹木・参道等



写真



緩衝地帯

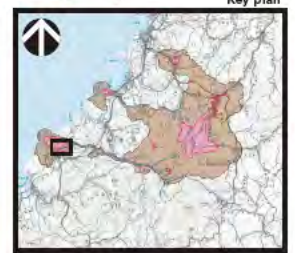
Key plan



17世紀後半の古絵図 (1841 写し)



写真、上空から温泉津を望む



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 3-29

登録資産の主要構成要素に  
関する図面

港と港町を構成する諸要素

[B-C] 温泉津



a. 町屋型住宅（旧船問屋の屋敷）立面図



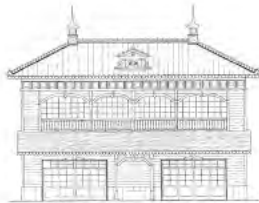
写真a.



b. 町屋型住宅（温泉・旅館経営者の住宅）立面図



写真b.



c. 洋風住宅（旧温泉施設）立面図



写真c.



石見銀山遺跡とその文化的景観

付属資料 4-a

年代別登録資産構成図

銀山の産業システムの変遷



〔16世紀前半（発見・本格的開発期—大内氏支配期）〕  
 ・神尾丹波が石見銀山を本格的に開発する。  
 ・銀山から朝ヶ浦の港まで銀を搬出するための街道（朝ヶ浦道）が整備される。  
 ・これにより朝ヶ浦は、家数が増え賑わいを見せ、繁栄したと伝えられる。  
 ・銀山を守るための軍事施設として、山吹城、矢野城、矢野城跡、石見城が築城される。



〔16世紀後半（本格的開発期—毛利氏支配期）〕  
 ・毛利氏が温泉津に奉行を置いて石見銀山とその周辺地域の支配を行う。  
 ・これを契機に、朝ヶ浦に代わって沖泊が銀の搬出港となる。  
 ・銀山から温泉津に向かって街道（温泉津・沖泊道）が整備され、銀の搬出や銀山で必要とされる消費物資・生産用物資の運搬に用いられる。



〔17世紀初頭（銀山最盛期—徳川氏支配期）〕  
 ・日本国内における銀の需要に伴い、山吹城をはじめ銀山南面にあった城郭群は役割を終える。  
 ・銀山は船に囲まれ、出入口には番所が設けられ出入りが監視される。谷路に沿って街道、町並みが続き、繁華な場所であったことが知られている。  
 ・産出銀の搬出は、他の道に移ったが、銀山への諸物資の供給船組は依然温泉津に集り、温泉津は繁華を可及して継続する。



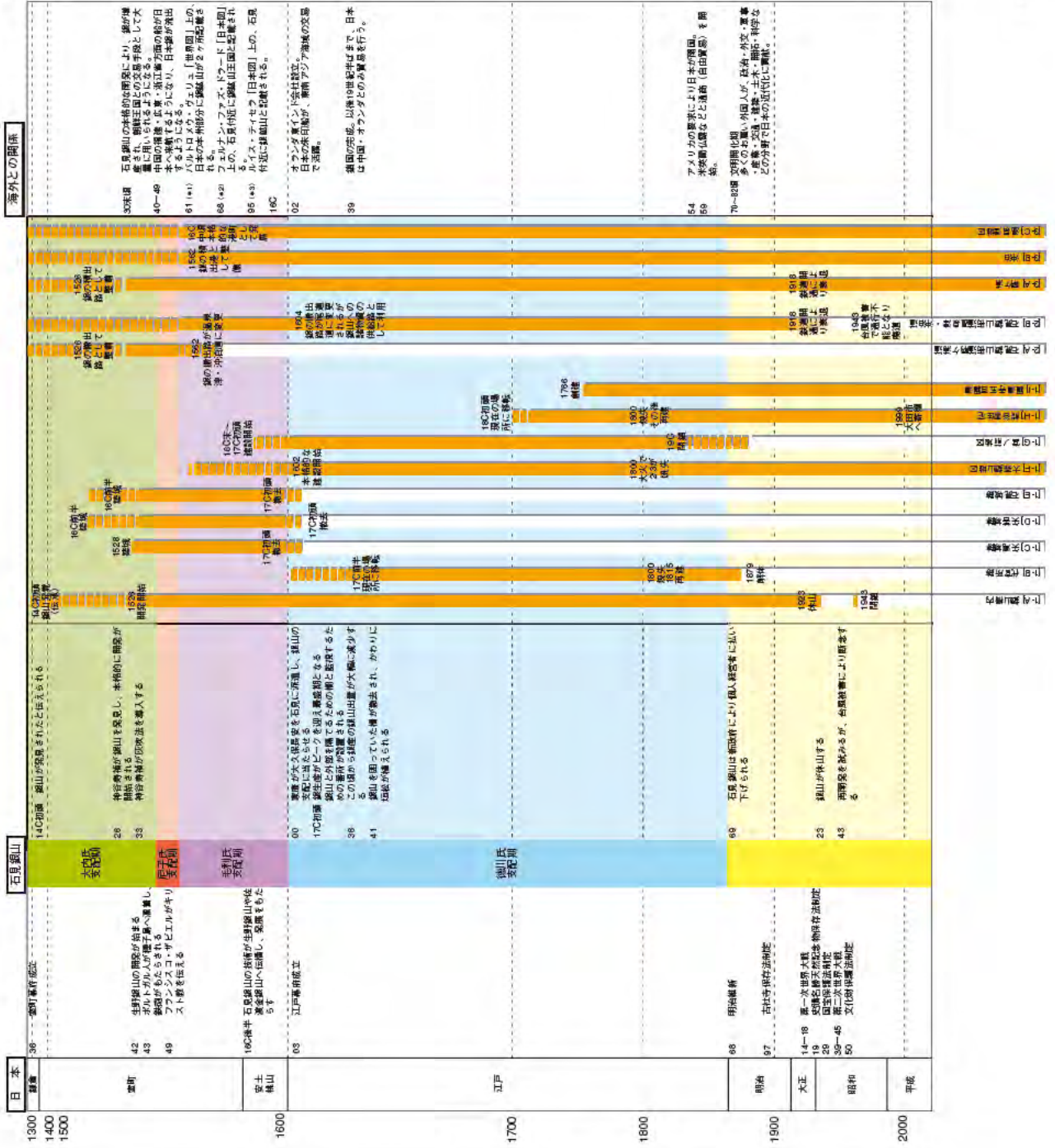
〔17世紀前半～19世紀後半（江戸時代開発継続期—徳川氏支配期）〕  
 ・銀山の繁栄は、福外東側の大森地区の建設・発展へと繋がり、17世紀前半には銀山地区の権がなくなる。  
 ・大森の町の繁栄とともに、支配の中心地も銀山地区から大森地区へと移動する。  
 ・石見銀山の銀生産は、17世紀半ばを境に減少しはじめる。  
 ・炭産が深くなるに従い作楽田職となるうえ出水村などで採炭が盛んなど採炭に問題が生じるようになり、多くの開採が休止して衰退を辿るようになる。  
 ・19世紀末には西洋技術を導入して近代的な製錬所が建設される。



石見銀山遺跡とその文化的景観



付属資料 4-b-1  
推薦資産の歴史年表



石見銀山遺跡とその文化的景観

\*1. バルトロメウ・ヴェリユ 「世界図」 (1561)



日本付近



本州部分の拡大図：  
本州部分に「minas da prata (銀鉱山)」が2ヶ所記載される

\*2. フェルナン・ファズ・ドラード 「日本図」 (1568)



中国地方の拡大図：  
石見付近に「R ASMNAS DA PRATA」(銀鉱山王国)と記載される

\*3. ルイスティセラ 「日本図」 (1595)



中国地方の拡大図：「Hivami (石見)」付近に「Argenti fordin æ (銀鉱山)」と記載される。

石見銀山遺跡とその文化的景観